

担い手通信

2025
vol. 3

トランプ関税でも過去最高

25年上半期 農産品輸出額16%増

農水省が4日に公表した2025年上半期(1～6月)の農林水産物・食品の輸出額は、前年同期比16%増の8097億円で、02年の統計開始以降で上半期の最高額を更新しました。緑茶や牛肉、米などが日本食人気の高まりを受けて急伸した他、トランプ関税の影響が懸念された米国向けも同22%増で好調でした。ただ、今年までに2兆円を達成するとした政府目標との開きは大きい状況です。

農産物の合計額は同14%増の5231億円で、過去最高を記録。このうち、1次農産品が同12%増の2231億円、加工食品が同9%増の2785億円でした。林産物が同18%増の371億円、水産物が同20%増の

1994億円、品目分類ができない少額貨物が8%増の501億円となりました。

国・地域別では、上位1～8位までの順位は前年と同じで、首位は米国の1410億円でした。4月にトランプ関税が発動したものの、現地ニーズが高まった緑茶やホタテ貝がけん引しました。次いで香港が同3%増の1068億円、中国が同15%増の902億円、台湾が同10%増の806億円、韓国が同22%増の507億円でした。

品目別では緑茶が同65%増の263億円に急拡大し、過去最高額を更新。抹茶を使ったラテなどの飲料が人気で、「海外から抹茶の注文が殺到している」(国内業者)といいます。牛肉や豚肉、イチゴ、ナガイモ、米、パックご飯なども過去最高額を記録。牛肉は台湾やタイでの販路開拓が大幅な輸出増につながり、米やナガイモは単価上昇が輸出額を押し上げました。

25年上半期の農林水産物・食品の輸出額

品目	金額 (億円)	前年比 増加率(%)
農産物(加工食品含む)	5,231	14
1次農産品	2,231	12
畜産品	663	2
牛肉	326	16
豚肉	13	28
穀物	373	9
米	68	23
パックご飯等	10	44
野菜・果実	294	2
イチゴ	53	22
ナガイモ	19	20
その他農産物	900	25
緑茶	263	65
花き	39	▲39
加工食品	2,785	9
日本酒	228	12
林産物	371	18
水産物	1,994	20
農林水産物・食品の合計	8,097	16

▲はマイナス。合計は少額貨物を含む
(出所：農水省)

政府は25年までに輸出額2兆円の達成を目標に掲げており、今年が正念場になります。達成には、下半期で前年比5割増の1・2兆円を実現する必要があるため、「非常にハードルは高い」(輸出企画課)。加えて8月以降は、日米関税交渉の結果、米国が日本に課す「相互関税」が15%となる見込みで、輸出のブレーキになる懸念があります。今後の動向が注目されます。

※この記事は8月5日時点のものであり、日米関税を巡る情勢は流動的ですので、ご留意ください。

(日本農業新聞 2025年8月5日)